

kaneko art gallery

相澤 秀人 展

2020.10.9 - 10.26

相澤 秀人 (Hideto AIZAWA)

- 1947 東京生
1971 東京芸術大学美術学部工芸科VD専攻卒業
1999 Artist residence EST-NORD-EST Quebec, Canada 研修
2008~2013 四谷アートステュディオム在籍 岡崎乾二郎 応用ゼミ修了

個展

- 1990 「相澤秀人展」 ギャラリーガモハウス (神奈川・鎌倉)
1993 “Intension and Extension” ギャラリーQ (東京・銀座)
“Relational wall” 村松画廊 (東京・銀座)
1995 「可能体・複層体」 ギャラリーQ (東京・銀座)
1996 「可能体・素形」 ギャラリーQ (東京・銀座)
1998 “Anti conception” モリスギャラリー (東京・銀座)
2000 “Anti conception” Galerie Satellite Espace Marie K (Paris,France)
2001 「着床」 かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2003 「やわらかな構築」 かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2004 “Synapse” かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2005 「矩形の定理・車窓の風景」 かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2007 「周縁と契機」 かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2009 “transform farm” Gallery Objective Correlative (東京・四谷)
「相澤秀人展」 ギャラリーAmano (山梨・小淵沢)
2010 “Material Dance” アートトレースギャラリー (東京・両国)
2011 “Infinite Form” ギャラリーAmano (山梨・小淵沢)
2013 “Mineral Autonomous” Gallery Objective Correlative (東京・四谷)
2014 “A secretly kitchen” Gallery Objective Correlative (東京・四谷)
ギャラリー悠玄 (東京・銀座)
2016 “funny brain” Steps Gallery (東京・銀座)
2018 “Loose condition” ギャラリー new新九郎 (神奈川・小田原)
“Loose goal” Steps Gallery (東京・銀座)

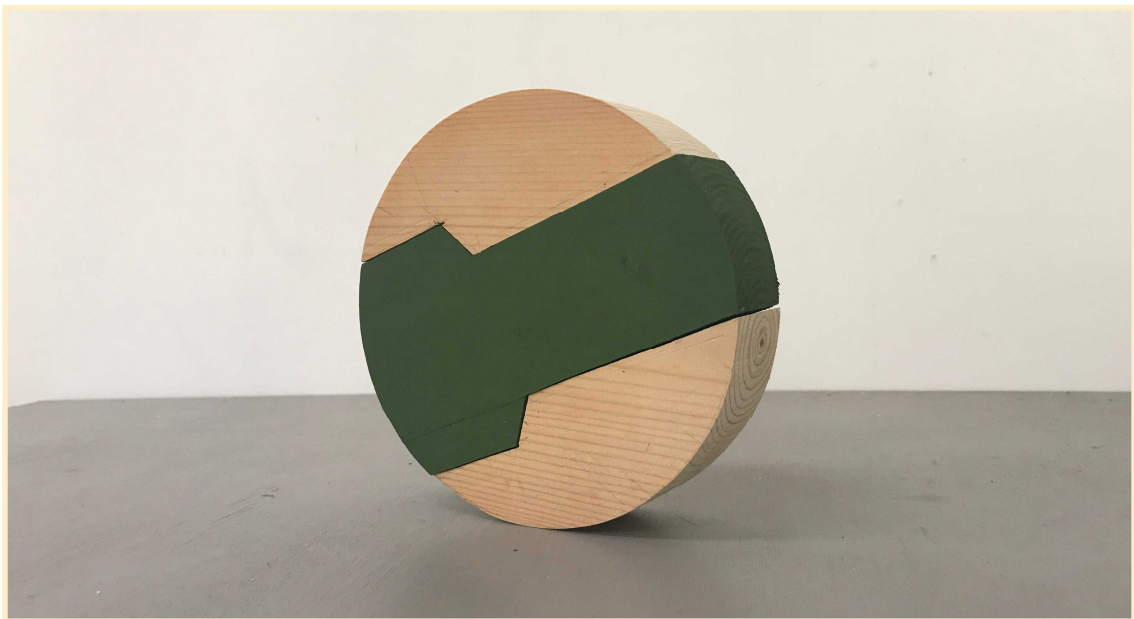
グループ展

- 1980 第15回 神奈川県美術展 神奈川県民ホールギャラリー (神奈川・横浜)
1987 「陶による2人展」 鎌倉画廊 (神奈川・鎌倉)
1993 “Visible riddle” ギャラリーQ (東京・銀座)
1994 「三人展」 ギャラリーヒルゲイト (京都)
1997 “Art Exchange Society” モリスギャラリー (東京・銀座)
2006 「それぞれの道」 かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
“Selection 2006” かねこ・あーとギャラリー (東京・銀座)
2008 “Extra territorial reality” Gallery Objective Correlative (東京・四谷)
2009 「コンテンポラリー新九郎」 ギャラリー新九郎 (神奈川・小田原)
Performance Show “Fussa Stolen Base” 福生野球場 (東京・福生)
2010 おしゃべりなアート展 ギャラリー悠玄 (東京・銀座)
2012 小田原ビエンナーレ「視覚の響き」 清閑亭 (神奈川・小田原)
「分枝と裁断」 Gallery Objective Correlative (東京・四谷)
2013 “The Exhibition of International DMZ Outdoor Installation” (Seoul, South Korea)
“Japanese 3 Artist Exhibition” E W Gallery (Seoul, South Korea)
2014 「今日の反核・反戦展」 丸木美術館 (埼玉・東松山市)
2015 第51回 神奈川県美術展 神奈川県民ホールギャラリー (神奈川・横浜)
2016 第13回 国際ミニチュアアートビエンナーレ (ゴルジ・ミラノヴァツツ市, セルビア)
Art Cocktail 2016 Steps Gallery (東京・銀座)
FAVORITE 2016 Steps Gallery (東京・銀座)
2017 大磯野外アート2017 神奈川県立城山公園 旧吉田庭園 (神奈川・大磯)
第6回 都美セレクショングループ展「エピクロスの空き地」 東京都美術館 (東京・上野)
2018 Art Cocktail 2018 Steps Gallery (東京・銀座)
2019 Art Cocktail 2019 Steps Gallery (東京・銀座)
第55回 神奈川県美術展、及び 巡回展 神奈川県民ホールギャラリー (神奈川・横浜、秦野)

Hideto AIZAWA - Sculptures



「Life device」
2020/8
wood / acrylic
50.0 × 30.0 × 12.0 cm (maquette)



「Life defense」
2020/4
wood / acrylic
13.5 × 13.5 × 3.5 cm (maquette)

哲学的な工作少年、私は私をそのように描写してみる。

私の行為は美術というより工作が相応しい。

試行錯誤のすえゼロ状態の脳髓に訪れる思考の脈絡から

逸れるような着想。

それに苦しみ、それを楽しむ。

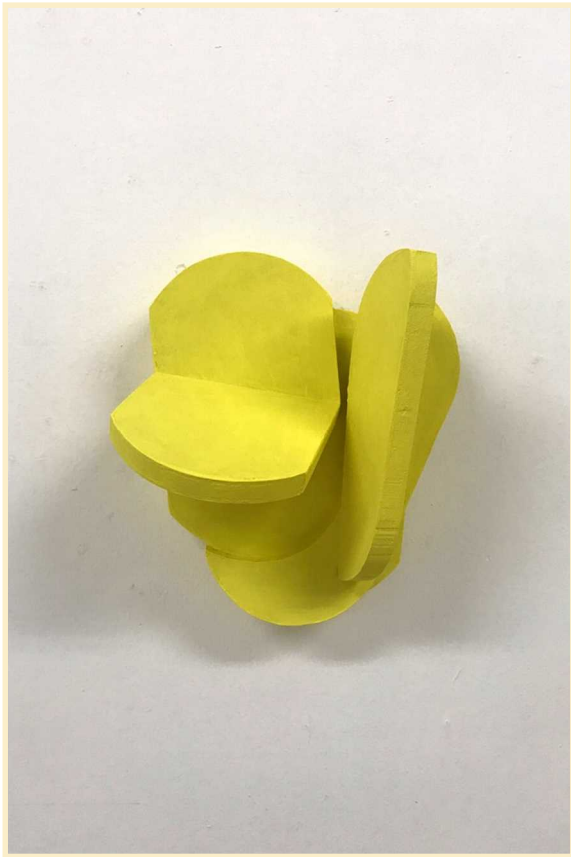
エピクロスのアトムの逸れのように思考をジャンプして

躍り出る作品が、私たちの生きる世界を理解する

ポロメオの輪であることを願う。

相澤 秀人

Hideto AIZAWA - Reliefs



「Organic yellow」

2020/9

wood / acrylic

20.0 × 17.0 × 11.0 cm



「Multi-view」

2019/5

wood / lacquer

15.0 × 15.0 × 3.5 cm

相澤秀人さんは2008～2013年、四谷アートステュ
ディオムに在籍され若きアーティストの方々と積極的
に交流し、学生と共に制作・発表の活動を行なうな
ど、新しい試みからのエネルギーを自身の内に涵養す
ることに取り組みられました。

今回展示の一連の新作（2019～2020年 制作）は、
それらの成果の一端でもあり、これまでの制
作の地続きにある、ひとつの転換点に生み置かれた作
品群でもある、と言えらると思います。

そして現在進行中のコロナ禍において制作された最新
作は、いずれもアーティストックでありながら、且
つアートが人に問いかけるものの本質が強く滲み出
ている作品でもあり、見る人に大きな力を与えます。

一人の作家の変貌の一過程を見つめる意味でも、興味
深い展示になると思われます。ぜひ多くの皆さまにご
覧頂きたいと思ひます。

kaneko art gallery

金子 太郎